

## 令和七年 謹賀新年



福岡県労福協  
理事長 藤田 桂三

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、労福協活動に対しまして「福祉は一つ」を合言葉に、それぞれの立場から温かいご支援・ご協力をいただいている、すべての仲間の皆さんに心から敬意を表し感謝申し上げます。

昨年は年初から、能登半島地震、羽田空港事故、小倉での大規模火災などが発生し、その後も全国各地で自然災害が相次ぎました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、被災地支援にご尽力されている関係者の皆さんに深く敬意を表します。本年は大きな災害や事故が起きないことを祈念いたします。

さて、私たちは今、時代の大きな転換点に立たされています。

世界各地での戦争・紛争や自然災害の頻発・激甚化、先行き不透明な世界市場、国内では、超少子高齢・人口減少社会の加速、円安や急激な物価高などにより、社会の分断や持続性の危機が深刻化し将来不安が増えています。

今ほど、共助の大切さ、労働者自主福祉活動の意義と役割が高まっているときはありません。本年は国連が宣言した「国際協同組合年」でもあり、支えあい助け合う組織として、今まで以上に積極的に活動を展開していく決意です。

厳しい環境下での諸活動となりますが、誰一人取り残されることのない包摂的で持続可能な社会をめざし、「働く仲間・地域の笑顔、子どもたちの平和と安心、希望のために」とともに手を携え頑張りましょう。

結びに、関係者の皆様のご健勝とご活躍、今後の労福協活動への積極的なご参画をお願いし、年頭のご挨拶といたします。



福岡県知事  
服部 誠太郎

新年あけましておめでとうございます。

福岡県労働者福祉協議会の皆さまにおかれましては、日ごろから労働者福祉の向上にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

国際情勢や円安の影響等により、エネルギー・原材料価格や物価の高騰が続いており、私たちの生活や産業経済は、依然として厳しい状況にあります。

こうした中、県では、県民の皆さまの命と健康、生活を守ることを第一とし、「1000億円の人づくり」、「県内GDP20兆円への挑戦」、「安全・安心で活力ある社会づくり」の3つの柱のもと、特に、「将来を守るサステナブル社会への改新」と「未来を拓くイノベーションの創発」の2つの視点をもって、世界を見て、未来を見据えて、福岡県の成長・発展を加速前進させるため、分野横断的な施策を展開してまいります。

今年は巳年です。今年も、様々な施策を力強く実行し、その「実(巳)」を結ぶことができるよう全力を尽くします。そして、県民の皆さまが安心して、たくさんの笑顔で暮らせる福岡県を実現してまいりますので、皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

新年が皆さまにとって、素晴らしい一年となりますよう心からお祈りいたします。



労働者福祉中央協議会  
会長 芳野 友子

新年明けましておめでとうございます。  
日本経済全体が落ち込み中で、光熱費や食品など生活に直結する分野の値上げが続いています。このなかで、2024年の年間出生数は初めて70万人を割り込むことが予想され、最悪のペースで少子化が進行しています。さらには「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するはずの生活保護費も段階的に削られ続けるなど、格差や貧困、社会の分断が深刻化しています。

このような今こそ、私たちは、生活困窮者支援の取り組みや、ライフサポート活動、子ども食堂の取り組みなど、地域の様々なネットワークで支え合い助け合う、地域共生社会の構築をめざした取り組みを、力をあわせて進めていかなければなりません。

高等教育の負担を軽減するについては、「すべての人が学べる社会へ 高等教育費負担軽減プロジェクト」の取り組みに結集し、「団体賛同・個人署名」の取り組みを進めてきました。多くの方々にご協力いただきましたことに、心からお礼申し上げます。通常国会では大学等修学支援法の改正が見込まれています。私たちはこれを機に、修学支援制度の対象範囲の拡大など、高等教育の負担軽減をもとめて、取り組みを強化していきます。

また、今年は国連の定めた国際協同組合年です。改めて労働者自主福祉運動や協同組合運動などの共助の輪を広げるとともに、NPOや市民団体などともつながり、持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けた協同組合の実践、社会や経済の発展への協同組合の貢献に対する認知を高める取り組みを、ともに進めていきましょう。

最後になりますが、2030年ビジョンにおいて確認した「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働きくらす持続可能な社会」を実現するための取り組みを、組織の枠を超えて、労働者自主福祉の取り組みを展開していくこととお誓い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



九州労働金庫福岡県本部  
本部長 西村 芳樹

新年明けましておめでとうございます。日頃より九州労働金庫の事業推進にあたり、皆様方のご理解とご支援をいただき、厚くお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、昨年は17年ぶりに日銀が利上げを行い、金利のある時代へと戻り金融機関にとってはこの先の金利動向を注視すると共に、物価の高騰もあわせて会員の皆さんに生活設計・生活防衛・生活改善の提案を行う事が求められる年となりました。また、預金の流出が金融機関全体に及び九州労働金庫としても大きな課題として捉えざるを得ない状況となっています。

上記の傾向は今年も続いていくと思われませんが、労金の将来を見据えた取り組みと、はたらく人にとってもっとも身近な金融機関として役割を果たすと共に、会員との連携を深めて協働した「しあわせ創造運動」を積極的に展開し、福祉金融機関としての社会貢献活動を展開していきます。

2025年が会員、組合員およびご家族のみなさん、そしてすべてのはたらく人にとって良い年になることを祈念申し上げて年頭のご挨拶とさせていただきます。



こくみん共済coop  
福岡推進本部  
本部長 矢田 信浩

新年明けましておめでとうございます。  
組合員・関係団体の皆さまには、健やかに新年をお迎えなられたこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、こくみん共済coop 福岡推進本部の諸活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は多くの自然災害により、広範囲にわたって被害が発生しました。被災された皆さまの生活再建や再開を心よりお祈り申し上げます。こくみん共済coopは、引き続き皆さまへの様々な支援にむけて、「たすけあい」を体現する生活協同組合としての使命と責任を果たしてまいります。

こくみん共済coopの運動と事業は、「誰もが入れる保障があれば、安心して働ける」「みんなが力を合わせれば実現できる」という多くの方々の想いが結実し、1954年に産声をあげました。そして今日、諸環境が激変するなか、従来までのお役立ち発想と共創活動にデジタルを取り入れた「新しいたすけあい」の創造・実践にむけて、各種の組合員サービスの展開をすすめています。

私たちは、この「たすけあい」の精神を大切に続け、組合員・関係団体の皆さまとともに時代を超えて成長し、未来につなげていくことをめざしてまいります。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

最後になりますが、組合員・関係団体の皆さまにとって、本年が素晴らしい1年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



福岡県生活協同組合連合会  
会長理事 堤 新吾

新年あけましておめでとうございます。  
日頃より、福岡県生協連並びに会員生協の事業・活動へのご理解、ご協力に心より感謝いたします。

コロナ禍が収束すると同時に、世の中の動きが大変活気を帯びてきた昨年でした。他方では、能登半島地震からの豪雨災害、そして、四季が無くなったかのような炎天下が続く夏の暑さの影響は、事業活動への影響もさることながら農畜産物への深刻な影響をあたえ、米不足や玉子の高騰などを招く事態となりました。

自然災害に遭われた皆さんには、お見舞いを申し上げるとともに、復興支援にひきつづき取り組んでまいります。

また、賃上げの機運は高まりつつあるものの、賃上げ以上の物価上昇により、日常生活への不安や貧困や格差の問題も大変厳しい状況になってきております。

フードバンク活動や、生活支援事業、奨学金事業など、社会貢献活動にも引き続き積極的に取り組んでまいります。

今年は、戦後80年の節目の年となり、被団協のノーベル平和賞受賞の報に平和の尊さを再認識するとともに、2回目のIYC国際協同組合年にもなっています。

各分野の協同組合のみなさまと連携し、地域に根ざした助け合いの組織として取り組んでまいります。

各団体のみなさまにとって、幸多き一年となりますよう祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



北九州総合労働会館  
理事長 清田 博巳

新年あけまして おめでとうございます。謹んで新春のお喜びを申し上げます。

旧年中は北九州総合労働会館（通称：真鶴会館）の運営に対しまして、格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、年末・年始におかれましても、昼夜を問わず業務に精励されています皆様方に対しまして、心より感謝と敬意を表します。

まずは、昨年も多くの自然災害が発生しました。1月1日の能登半島地震では、家屋倒壊、津波、火災など甚大な被害をもたらしました。その後、ようやく道路復旧などが進み始めた最中の9月21日には記録的な豪雨が発生し、再び甚大な被害となりました。そして、8月に日向灘沖地震、8月末には台風10号など日本各地で自然災害が続きました。被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心より願っております。

さて、会館を取り巻く情勢は、ようやく人の流れや社会経済の動きも活発になってきており、コロナ禍以前の日常生活に戻ってきました。このような中、会館の運営については、貸会議室・貸ホールの利用及びカルチャー講座も好評を維持しており、利用者数についても増加傾向にあります。しかし一方で、エネルギー資源をはじめとする様々な品目の値上げで物価上昇が与える影響もあり、依然として厳しい状況が続いています。

今後の課題としては、1階中ホールと2、3階の空室への新規テナント入居募集や、4階会議室と5階大ホールの利用促進の更なる宣伝強化、ならびに公益目的財産額の軽減に向けた努力と一層の経費削減に努めることが求められます。

本年も関係各所と連携を図り、各会員団体のご協力を得ながら、役・職員一丸となり、健全運営に向けて努力して参ります。引き続き、真鶴会館に対しましてご理解・ご協力をお願い致します。

結びになりますが、真鶴会館に入居頂いておりますテナントの皆様と各会員団体の皆様ならびにご家族の皆様にとりまして、素晴らしい年になりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



# 謹賀新年

## 北九州地域労働者福祉協議会

会長 増田 隆 男  
事務局長 遠藤 禎 幸  
職員 森谷 尚 美

## 京築・田川地域労働者福祉協議会

会長 中野 展 禎  
事務局長 原田 登喜雄  
職員 蕨野 美 穂

## 遠賀川地域労働者福祉協議会

会長 宮原 征 也  
事務局長 金光 千 春  
職員 大庭 菜 摘

## 福岡地域労働者福祉推進協議会

会長 石堂 高 大  
事務局長 平田 貢一郎

## 筑紫・朝倉地域労働者福祉協議会

会長 小西 晋  
事務局長 中山 啓 一  
職員 花田 圭 子

## 北筑後地域労働者福祉協議会

会長 國武 卓 史  
事務局長 樋口 孝 司  
職員 良永 礼 子

## 南筑後地域労働者福祉協議会

会長 深町 聡一郎  
事務局長 本田 賢 治  
職員 浦濱 明 美

## ライフサポートふくおか

事務局員 伊藤 正 美

本年もよろしく  
お願い申し上げます

令和七年 元旦

職員 小森田 紀子

監事 松本 竹生  
寺澤 じゅんこ  
原田 登喜雄

平田 貢一郎

樋口 孝司

金光 千春

本田 賢治

遠藤 禎幸

中山 啓一

清山 吾人

堤 新巳

日高 靖二

神尾 浩隆

志 敏

理事 本村 隆幸

専務理事 本村 隆幸

副理事長 矢田 信浩

副理事長 西村 芳樹

理事長 藤田 桂三

一般社団法人

福岡県労働者福祉協議会 役員



一般社団法人 福岡県労働者福祉協議会

〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル2階

TEL 092-263-3141 FAX 092-263-3121

[ホームページ] <http://fukuoka.rofuku.net/> [メールアドレス] [roufuku@h8.dion.ne.jp](mailto:roufuku@h8.dion.ne.jp)

ろうふく協 NEWS  
vol.194

発行 2025年1月4日

発行人 藤田 桂三

編集 本村 隆幸